

小・中学生3県交流事業「尾瀬子どもサミット」

活動を行う団体

群馬県、福島県、新潟県

後援：公益財団法人尾瀬保護財団、地元市町村ほか

活動の実施場所

尾瀬国立公園（群馬県、福島県、新潟県）

活動の概要

「尾瀬子どもサミット」は、美しい自然と貴重な生態系を持ち、「自然の宝庫」と言われる尾瀬国立公園において、群馬県、福島県、新潟県の3県の小中学生を対象に行われています。

3泊4日の日程で、子どもたちは、まず、尾瀬国立公園の概要や、尾瀬でのルールや生活等についてのレクチャーを受けた後、フィールド活動を行います。フィールド活動では、湿原の植物や動物などを見つけ、その特徴を調べるほか、スケッチや写真撮影を行います。また、水源施設や公衆トイレの浄化施設などの環境保護のための施設見学や、山小屋やビジターセンターの職員への聞き取り調査を通して、自然保護の取組について学びます。フィールド活動には、日頃から尾瀬内で活動する公益財団法人尾瀬保護財団の認定ガイドが同行します。



ガイドによる説明を熱心に聞く子どもたち



フィールド活動における池塘観察

フィールド活動を通して発見したこと、疑問に感じたことを班内で意見交換し、撮影した写真を使用して全体発表会で発表するなど、振り返りや共有の機会を設けています。また、交流会では、ネイチャーゲーム等の交流プログラムも実施し、3県の児童生徒の交流促進を図っています。



公衆トイレの施設見学



全体発表会でのフィールド活動報告